

2015年度 日本気象学会東北支部第2回理事会 議案

日時：2016年2月29日（月）15時00分～18時00分

場所：仙台管区気象台第3会議室

開会の挨拶

出席者紹介

議 題

- | | |
|--|--------|
| 1. 第4回支部長会の議題「“秋季大会運営に関する” 関西支部の提言に対するコメント等」について | 2 ページ |
| 2. 2015年度事業報告 | 3 ページ |
| 3. 2015年度会計報告 | 6 ページ |
| 4. 2015年度会計監査報告 | 8 ページ |
| 5. 2016年度事業計画案 | 9 ページ |
| 6. 2016年度予算案 | 11 ページ |
| 7. その他 | 13 ページ |
| (1) 2018年度秋季大会の準備について | 13 ページ |
| (2) 東北大学主催イベントの後援について | 13 ページ |
| (3) 事務局から | 13 ページ |

資 料

- | | |
|-------------------|--------|
| 2015年度の支部活動強化基金計画 | 15 ページ |
| 役員名簿（第29期2015年度） | 16 ページ |
| 東北支部規則 | 17 ページ |
| 東北支部細則 | 18 ページ |
| その他の資料 | 別紙 |

1. 第4回支部長会の議題「“秋季大会運営に関する” 関西支部の提言に対するコメント等」について

3月4日に開催される第4回支部長会議の議題について、東北支部からのコメント（暫定）として下記の通り本部へ報告している。本理事会で意見を集約し、確定版を提出したい。なお関西支部の提言およびその要約は別紙参照のこと。

関西支部の提言に対するコメント（東北支部・暫定）

先般の関西支部の提言は、実際に今年度の秋季大会を運営しているからこそその有意義な提言と認識しており、この提言への東北支部としてのコメントは下記のとおりである。今後、本部事務および講演企画委員会等ではこの提言および各支部からのコメントに則して、日本気象学会秋季大会運営についてご検討いただきたい。

・予稿集の電子化について、条件付で賛同する。

関西支部と同じく当日の紙媒体予稿集販売を継続する場合、本部事務で取り扱うことを希望する。ただし予稿集の電子化については、予稿集販売収入が他の業務経費に回っている状況に留意して、従来の印刷版とあわせて電子化版の価格の検討を行う必要があると考える。

・シンポジウムのあり方について、意義を整理・明確化する必要があると考える。

秋季大会を地方で開催することはアウトリーチの観点から重要であると考え。この点を含めたシンポジウムのあり方について検討する必要がある。

・SSの廃止や厳選と開催希望の無制限な拡大の防止について、条件付で賛同する。

あわせて講演資格の観点でも、講演資格を原則会員としてSS等は適用除外とする基本方針を踏まえ、非会員の発表者の増減についても留意する必要があると考える。

・大会会場の適正規模の見直しについて、

現時点で、2018年度の開催地である仙台では、会場とする仙台国際センターの設備の都合により、3.5日4会場または3日5会場による運営の開催を予定している。

（備考：仙台国際センターの収容数：2013年度秋季大会）

A会場（橘）	350名（上階傍聴席・机あり）
B会場（萩）	290名（上階傍聴席・机あり）
C会場（桜2）	最大500名（机なし）
D会場（白檀）	126名（机あり）

・その他の改善すべき点について、基本的に賛同する。

とくに、(5-13)大会運営の外注化については、これを強く支持する。全国で共通するような業務は本部事務が担当となるべきで、地方が担わないほうがよいと考える。

2. 2015年度事業報告

1) 東北支部気象講演会

日時：平成28年2月20日（金） 13時30分～15時30分（開場13時30分）

場所：東京エレクトロンホール宮城 601大会議室

〒980-0803 宮城県仙台市青葉区国分町3丁目3-7

テーマ：「平成27年9月関東・東北豪雨」

演題および講師：

(1) 「東北地方で観測された豪雨のようす」

廣川 康隆氏（仙台管区気象台気象防災部予報課 技術専門官）

(2) 「仙台管区気象台のとした対応」

渡辺 真二氏（仙台管区気象台気象防災部予報課 課長）

(3) 「宮城でどうしてたくさん雨が降ったのか？」

岩崎 俊樹氏（東北大学大学院理学研究科 教授）

(4) 「宮城県の河川被害およびその実態」

小森 大輔氏（東北大学大学院環境科学研究科 准教授）

司会：大江 和美氏（日本気象協会東北支局 気象予報士）

参加人数：約70名

主催：日本気象学会東北支部

共催：仙台管区気象台

後援：宮城県、仙台市

東北支部だより第83号に開催報告を掲載予定

2) 支部強化基金による活動

第6回気象サイエンスカフェ東北

日時：平成27年11月14日（土）13時30分～16時00分（開場13時00分）

場所：仙台第3合同庁舎 2階大会議室

〒983-0842 宮城県仙台市宮城野区五輪1丁目3番15号

テーマ：「もし地球が立方体だったら」

話題提供：名越 利幸氏（岩手大学 教授）

司会：大江 和美氏（日本気象協会東北支局 気象予報士）

参加人数：約40名

主催：日本気象学会東北支部・日本気象予報士会東北支部

共催：日本科学協会・日本気象協会東北支局・仙台管区気象台

3) 東北支部気象研究会

仙台管区気象台東北地方調査研究会との共催

日時：平成27年12月7日（月）10時30分～17時15分

場所：仙台第3合同庁舎 2階大会議室

発表：21題（発表応募6題、仙台管区気象台東北地方調査研究会15題）

参加人数：約80名

気象研究会の発表演題、著者（発表者に○）

なお紙面の都合上、仙台管区気象台東北地方調査研究会の題目は省略

- ・ 陸面過程モデルによる葉面湿潤度の推定と検証 ―いもち病の予測を目指して―
 - 成田裕幸¹、山崎剛¹、菅野洋光²、大久保さゆり³（1：東北大学大学院理学研究科、2：農研機構中央農業総合研究センター、3：農研機構東北農業研究センター）
- ・ [平成27年9月関東・東北豪雨] 栃木・茨城県に大雨をもたらした総観スケールの環境場の特徴について
 - 津口裕茂・加藤輝之（気象研究所）
- ・ 2013年5月13日の仙台山形の気温差について
 - 岩場遊、岩崎俊樹（東北大学大学院理学研究科）
- ・ 従来型観測のみを用いた日本域長期領域再解析システムの構築に向けて
 - 福井真^{1,2}、岩崎俊樹¹、瀬古弘²、斉藤和雄²、国井勝²（1：東北大学大学院理学研究科、2：気象研究所）
- ・ 特定温位面以下の寒気の蓄積と放出
 - 菅野湧貴、Muhammad Rais Abdillah、岩崎俊樹（東北大学大学院理学研究科）
- ・ カナダ・チャーチルにおける大気中CH₄濃度とその炭素・水素同位体比の変動
 - 藤田遼¹、森本真司¹、梅澤拓²、石島健太郎³、Prabir Patra^{1,3}、Doug Worthy⁴、青木周司¹、中澤高清¹（1：東北大学大学院理学研究科附属 大気海洋変動観測研究センター、2：国立環境研究所、3：JAMSTEC、4：Environment Canada）

4) 東北支部だより

■第81号（2015年8月発行）

- ・ 支部長就任挨拶：長谷川 直之氏（日本気象学会東北支部長）
- ・ 寄稿「大気球を用いたインドネシア上空の熱帯大気観測」
 - ：菅原 敏氏（宮城教育大学教授）
- ・ 第5回気象サイエンスカフェ東北
 - ：岩渕 巧氏（日本気象予報士会東北支部）
- ・ 平成26年度気象講演会報告
 - ：高橋 清利氏（福島地方気象台長（現・長野地方気象台長））
- ・ 2014年度日本気象学会東北支部第2回理事会 議事抄録
- ・ 2015年度日本気象学会東北支部第1回理事会 議事抄録
- ・ 東北支部「気象研究会」の開催案内
- ・ 第6回気象サイエンスカフェ東北のご案内

■第82号（2016年2月発行）

- ・ 寄稿「平成27年9月関東・東北豪雨と東海豪雨を経験して ～予報技術の向上に期待する～」
 - ：渡辺 真二氏（仙台管区気象台）
- ・ 第6回気象サイエンスカフェ東北
 - ：岩渕 巧氏（日本気象予報士会東北支部）
- ・ 2015年度日本気象学会東北支部気象研究会報告

：齋藤 篤思氏（日本気象学会東北支部事務局）

- ・ 2015年度日本気象学会東北支部臨時理事会 議事抄録
- ・ 日本気象学会東北支部第30期役員選挙の予告
- ・ 日本気象学会東北支部気象講演会のご案内

5) 支部理事会

- ・ 第1回（2015年4月24日，仙台管区気象台第3会議室）
- ・ 臨時回（2015年9月08日，仙台管区気象台第3会議室）
- ・ 第2回（2016年2月29日，仙台管区気象台第3会議室）

6) 平成27年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）の公募

- ・ 申請はなし

7) 日本気象学会奨励賞の推薦

- ・ 推薦はなし

3. 2015年度会計報告

〔支部一般会計〕（2015年4月1日～2016年2月28日）

	予算額	決算額	差異
I 収入の部			
事業活動収入			
本部交付金	558,800 円	*1558,800 円	0 円
前期繰越金	314,815 円	314,815 円	0 円
事業収入（広告料等）	0 円	0 円	0 円
雑収入			
預金利息	50 円	54 円	4 円
事業活動収入計(1)	873,665 円	873,669 円	4 円
II 支出の部			
事業活動支出			
事業費支出			
支部気象講演会	250,000 円	221,249 円	28,751 円
支部気象研究会	100,000 円	0 円	100,000 円
支部だより	230,000 円	190,875 円	39,125 円
ホームページ運営費	15,000 円	15,000 円	0 円
管理費支出			
支部理事会	85,000 円	35,888 円	*249,112 円
支部役員選挙	20,000 円	0 円	20,000 円
事務費	150,000 円	153,859 円	△3,859 円
事業活動支出計(2)	850,000 円	616,871 円	234,209 円
III 予備費支出			
予備費支出	23,665 円	0 円	23,665 円
予備費支出計(3)	23,665 円	0 円	23,665 円
当期収支(A)=(1)-(2)-(3)		258,094 円	
次期繰越額(A)	0 円	258,094 円	

※マイナスの金額には、△印を付した。

*1：本部交付金は、支部会員 174 名×1,200 円+35 万円。

*2：第 2 回理事会出席に係る交通費は未計上（2016 年 2 月 22 日現在）

〔支部強化基金による活動会計〕（気象サイエンスカフェ東北）

	予算額	決算額	差異
I 収入の部			
事業活動収入			
本部交付金	82,000 円	82,000 円	0 円
気象予報士会東北支部分担金	10,000 円	10,000 円	0 円
事業収入（広告料等）	0 円	0 円	0 円
雑収入	0 円	0 円	0 円
事業活動収入計(1)	92,000 円	92,000 円	0 円
II 支出の部			
事業活動支出			
事業費支出			
資料印刷費	22,000 円	19,980 円	2,020 円
会場費 開催費	15,000 円	13,698 円	1,302 円
講師謝金	10,000 円	3,240 円	6,760 円
事務費	10,000 円	5,276 円	4,724 円
役務費・交通費	35,000 円	33,700 円	1,300 円
事業活動支出計(2)	92,000 円	75,894 円	16,106 円
当期収支差額=(1)-(2)	0 円	*16,106 円	△16,106 円

※マイナスの金額には、△印を付した。

*1：残金 16,106 円は、2016 年 2 月 25 日に事務局本部へ返納した。

4. 2015 年度会計監査報告 (2016 年 2 月 25 日現在)

預金通帳, 現金, 領収書を照合の結果, 誤りがないことを認めます。

なお、預金通帳の払い出し年月日と、領収書の年月日にずれがあり、会計担当幹事が一時立替払いを行っていることに関しては検討の必要がある。

2016 年 2 月 25 日

日本気象学会東北支部会計監査

白川 栄一 

5. 2016年度事業計画案

1) 東北支部気象講演会

2007年度以降の開催状況

年度	開催地	講演者	
2007年度	青森市	板谷 宏之	児玉 安正
2008年度	福島市	渡邊 明	大久保 忠之
2009年度	大崎市	境田 清隆	大場 淳司
2010年度	秋田市	佐藤 威	栗田 邦明
2011年度	盛岡市	岩崎 俊樹	神田 英司
2012年度	山形市	阿部 修	柳澤 文孝
2013年度	弘前市	楠 研一	児玉 安正
2014年度	福島市	渡邊 明	小畑 英樹
2015年度	仙台市	岩崎 俊樹	小森 大輔
		渡辺 真二	廣川 康隆

気象講演会は原則として「持ちまわり」で開催する方針とする。ただし、他のイベント等との同年開催については配慮を行うとともに、会員等からの開催・運営の意向があった場合、宮城県等他県での開催も可能とし、担当理事がこれを調整する。なお開催地を変更する場合は、準備の都合上、開催前年度の第2回理事会前（例年2月～3月）に東北支部事務局へ通知することとする。

【概要】

日 時：未定

会 場：未定

テーマ：未定

2) 東北支部気象研究会

・仙台管区気象台の東北地方調査研究会に合わせて共催で開催予定。

2016年度の開催については、仙台管区気象台 防災調査課と検討する。

気象業務、研究を本務としない会員の発表者には、気象学会東北支部から交通費の一部補助を引き続き行うが、より多くの発表者を募るため、2015年度と同様に新年度の早い段階で、補助の周知を行いたい。

3) 東北支部だより

・年2回発行(第83号、84号)の予定。

・発行作業は原稿のとりまとめまでとし、編集、印刷及び会員への発送は2015年度と同様に業者発注とし、作業は簡略化する。

4) 支部理事会

・例年は年2回（5～6月、3月頃予定）開催している。支部長会議で東北支部の意見を

取りまとめて提示したいため、支部長会議開催前に開催する。

- ・2016年度第1回理事会は、各事業の担当理事を決めるため、選挙後のできるだけ早い時期に開催したい。

5) 支部強化基金による活動

- ・気象サイエンスカフェ東北を、2016年秋頃に仙台市で開催する。開催日程や会場、テーマ等について、日本気象予報士会東北支部と打ち合わせを行いつつ、準備を進めていく。

6) 日本気象学会奨励賞などへの推薦

7) 第30期役員選挙

2016年3月31日を以って、第29期役員の任期は満了する。それにもなつて、2016年春に第30期役員選挙を執り行う。なお選挙管理人は、山崎幹事にご担当いただく予定である。

(日程概要)

- ・3月下旬：選挙告示を会員宛に郵送
- ・4月中旬：立候補者受付締切
- ・4月下旬：投票用紙を会員宛に郵送
- ・5月中旬：投票締切
- ・5月下旬：開票・当選者確定
- ・6月頃：2016年度第1回理事会にて報告

6. 2016年度予算案

〔支部一般会計〕

	2016年度 予算額	2015年度 予算額	予算増減額 [2016年—2015年]	2015年度 決算額
I 収入の部				
事業活動収入				
本部交付金	*1558,800円	558,800円	0円	558,800円
前期繰越金	*2258,094円	314,815円	△56,721円	314,815円
事業収入(広告料等)	0円	0円	0円	
雑収入				
預金利息	50円	50円	0円	54円
事業活動収入計(1)	816,944円	873,665円	△56,721円	873,669円
II 支出の部				
事業活動支出				
事業費支出				
支部気象講演会	250,000円	250,000円	0円	221,249円
支部気象研究会	100,000円	100,000円	0円	0円
支部だより	200,000円	230,000円	△30,000円	190,875円
ホームページ 運営費	15,000円	15,000円	0円	15,000円
管理費支出				
支部理事会	85,000円	85,000円	0円	32,428円
支部役員選挙	30,000円	20,000円	10,000円	*30円
事務費	50,000円	150,000円	△100,000円	153,643円
事業活動支出計(2)	730,000円	850,000円	△120,000円	615,575円
III 予備費支出				
予備費支出	99,050円	23,665円	75,385円	0円
予備費支出計(3)	99,050円	23,665円	75,385円	0円
当期収支差額 (A)=(1)-(2)-(3)	0円	0円	0円	258,094円
次期繰越収支差額 (A)+(B)	0円	0円	0円	258,094円

※マイナスの金額には、△印を付した。

*1 本部交付金は、支部会員174名×1,200円+35万円で計算。

*2 繰越金は暫定、年度末までに6万円程度減額の見込み。

*3 年度末に選挙告示の葉書郵送費が計上される見込み。

〔支部強化基金による活動会計〕（気象サイエンスカフェ東北）

	2016年度 予算額	2015年度 予算額	予算額増減 [2016年-2015年]	2015年度 決算額
I 収入の部				
事業活動収入				
本部交付金	85,000円	82,000円	3,000円	82,000円
気象予報士会東北支部分担金	*110,000円	10,000円	0円	10,000円
事業収入（広告料等）	0円	0円	0円	0円
雑収入	0円	0円	0円	0円
収入計(1)	95,000円	92,000円	3000円	92,000円
II 支出の部				
事業活動支出				
事業費支出				
資料印刷費	20,000円	22,000円	△2,000円	19,980円
会場費 開催費	20,000円	15,000円	5,000円	13,698円
講師謝金	15,000円	10,000円	5,000円	3,240円
事務費	5,000円	10,000円	△5,000円	5,276円
役務費・交通費	35,000円	35,000円	0円	33,700円
事業活動支出計(2)	95,000円	92,000円	3,000円	75,894円
当期収支差額=(1)-(2)	0円	0円	0円	16,106円

※マイナスの金額には、△印を付した。

*12016年度気象予報士会東北支部分担金は予定。

7. その他

(1) 2018年度秋季大会の準備について

2018年10月29日（月）～11月1日（木）の期間において、仙台国際センターの会議棟および展示棟をすべて仮予約している（別紙3参照）。仮予約の期限が2017年2月末のため、2016年内には「3.5日4会場」と「3日5会場」のどちらかに決定する必要がある。なお前日（28日）は他学会が終日会場をおさえているため、29日午前は会場を利用することはできない。

これまでと運営形態が変更となる2018年度秋季大会の準備へ向けて、第30期役員から大会準備担当の理事・幹事を設置することを事務局として提案したい。また気象台職員は数年で異動があることを考慮して、担当理事・幹事は大学側にお願いしたい。

(2) 日本気象学会東北支部規則の改正について

・日本気象学会東北支部規則第13条のうち、下線部を改正したい（日本気象学会 細則第4条により、理事会の承認が必要）。

第13条 支部長は必要に応じ、会務の一部を処理するため幹事（3～4名）を置くことができる。

（参考・日本気象学会 細則 第4条

第4条 支部は、支部の組織、運営、会計等に関する基本的な事項を定める支部規程を、理事会の承認を得て定めるものとする。また、これを改正するときも同様とする。）

(3) 東北大学主催イベントの後援について

2016年3月26日（土）に東北大学大学院理学研究科青葉サイエンスホールにて開催予定の、東北大学主催のアウトリーチ「海をはかる～海洋観測と私たちの暮らし～」に後援として協力することになった。東北支部は学会ホームページにチラシPDF（別紙4）を掲載して、広報活動に協力する。

(4) 事務局から

①東北支部会員数（個人会員）

2016年1月現在

県名	会員数	2015.04
青森県	21名	24名
岩手県	14名	17名
秋田県	17名	15名
山形県	14名	15名
宮城県	86名	82名
福島県	19名	21名
合計	171名	174名

3名減

②旅費等について

交通費については

青森は 21,000 円 [10,500 円×2]

弘前は 22,300 円 [11,110 円×2]

秋田は 20,100 円 [10,030 円×2]

盛岡は 12,200 円 [6,090 円×2]

山形は 2,100 円 [900 円×2+140 円×2]

福島は 2,600 円 [1,280 円×2]

仙台、岩沼は 1,000 円をお願いします。

※100 円未満の端数は切り上げています。

日本気象学会東北支部第 29 期 2015 年度役員名簿

2016 年 2 月 29 日現在

支部長	長谷川 直之	仙台管区気象台長
常任理事	青木 周司	東北大学大学院教授（理学研究科）
	岩崎 俊樹	東北大学大学院教授（理学研究科）
	佐伯 芳	日本気象協会東北支局長
	境田 清隆	東北大学大学院教授（環境科学研究科）
	杉山 公利	日本気象予報士会東北支部長
	野村 竜一	仙台管区気象台気象防災部長
	渡辺 真二	仙台管区気象台気象防災部予報課長
地方理事	児玉 安正	弘前大学大学院教授（理工学研究科）
	名越 利幸	岩手大学教授（理科教育科）
	岩尾 尊徳	秋田地方気象台長
会計監査	白川 栄一	仙台航空測候所長
幹事	山崎 剛	東北大学大学院准教授（理学研究科）
	斎藤 篤思	仙台管区気象台気象防災部防災調査課 調査官
	廣川 康隆	仙台管区気象台気象防災部予報課 技術専門官

日本気象学会東北支部規則

昭和 32. 5. 26	成立
昭和 32. 7. 5	第 8. 11 条を改正、 第 15～19 条を追加
昭和 40. 11. 18	第 8 条を改正
昭和 56. 10. 12	第 2 条を改正
昭和 60. 3. 19	第 9 条を改正
平成 2. 6. 21	第 8 条を改正
平成 6. 2. 28	第 8. 9. 12. 14. 18 条を改正
平成 9. 6. 3	第 2 条を改正
平成 22. 6. 11	第 8 条を改正
平成 25. 6. 20	第 1. 2. 18 条を改正
平成 27. 3. 12	第 18 条を改正

- 第 1 条 本支部は公益社団法人日本気象学会東北支部という。
- 第 2 条 本支部は事務所を仙台市宮城野区五輪一丁目 3 番 15 号第 3 合同庁舎、仙台管区気象台内に置く。
- 第 3 条 本支部は東北 6 県に在住する全ての日本気象学会員で構成される。
- 第 4 条 本支部は日本気象学会の定款の範囲内で事業を行うが、特に支部会員の研究の奨励、推進ならびに相互の連絡につとめることを目的とする。
- 第 5 条 本支部は前条の目的を達成するために、講演会ならびに学術的会合の開催、その他この支部の目的にかなう事業を行う。
- 第 6 条 本支部の事業年度は毎年 4 月 1 日にはじまり、翌年 3 月 31 日に終わる。
- 第 7 条 本規則の実行に必要な細則は、支部理事会の決議によって別に定める。
- 第 8 条 本支部に次の役員を置く。
理事 8～11 名（常任理事 2～8 名内支部長 1 名）、会計監査 1 名。
- 第 9 条 理事および会計監査は支部会員の選挙によって定める。
ただし、任期中に欠員が生じた場合は細則の定めるところによって補充する。
- 第 10 条 支部長および常任理事は理事の互選によって理事の中から定める。
- 第 11 条 支部長はこの支部を代表して会務を総理する。支部長に事故があるとき、または欠けたときは、支部長があらかじめ指名した常任理事がその職務を代行する。
- 第 12 条 理事はこの支部の会務を行う。会計監査は支部の会計を監査する。
- 第 13 条 支部長は必要に応じ、会務の一部を処理するため幹事（2～3 名）を置くことができる。
- 第 14 条 理事および会計監査の任期は 2 年とする。ただし、重任は妨げない。
理事および会計監査は任期満了後でも後任者の就任するまでその職務を行う。
- 第 15 条 支部長は毎年 1 回および必要に応じて理事会を招集する。
- 第 16 条 理事会は過半数の理事の出席がなければ成立しない。
- 第 17 条 支部長は次の事項を理事会の承認を得て会員に報告しなければならない。
（1）事業計画および収支決算
（2）その他理事会において必要と認めた事項
- 第 18 条 本支部の経費は本部交付金（支部強化基金を含む）と寄付金とする。
- 第 19 条 この規約は理事の 3 分の 2 以上の賛成を得なければ変更することができない。
- 付則
- 第 20 条 この支部の設立当初の役員は設立準備会でこれを選任する。

以上

日本気象学会東北支部細則

昭和33. 7. 5	成立
昭和40. 11. 18	1項を改正
昭和41. 3. 15	7項を改正
昭和60. 3. 19	12、13、14の各項を改正
平成6. 2. 28	1、8、9、12、13の各項を改正
平成22. 6. 11	1項を改正
平成27. 3. 12	1項を改正

役員選挙

- 1 理事は東北地区在住の会員より8～11名選出する。このうち在仙理事5～8名、地方理事若干3名とする。
会計監査は東北地区在住の会員より1名を選出する。
- 2 次期理事の定数および在仙・地方別理事数は理事会で決定する。
- 3 候補者は理事会の推薦者および立候補者とし、投票締切日の20日前までに決定のうえ、会員に周知させるものとする。
- 4 立候補者は投票締切日の30日前まで支部長宛に届け出るものとする。
- 5 投票は無記名連記とする。ただし、連記数は第2項の決定による在仙・地方別理事数とする。
- 6 投票は文書投票とする。
- 7 有効投票により、各地区別に投票の多い順に次期理事を決定する。同数の場合は年少者を上位とする。ただし、得票数が有権者の10分の1に満たない者は理事に就任することができない。次点者も同様とする。
- 8 当選者が理事および会計監査就任を辞退した場合は次点者を繰り上げる。
- 9 理事および会計監査に欠員が生じた場合の補充は次点者をあてる。
- 10 開票は常任理事立ち会いのもと行う。
- 11 開票の結果は会員に報告する。
- 12 理事および会計監査に欠員を生じ、第9項による補充ができない場合は、理事会の推薦によって補充する。
- 13 第9項または第12項による補充理事および会計監査の任期は前理事および会計監査の残存期間とする。
- 14 そのほか選挙にあたって必要事項は支部長が決定し、事後に理事会に報告する。

以上